

蒲郡市における公共交通に関する住民アンケート調査概要

(1) 調査対象

蒲郡市在住の満 16 歳以上の方 3,000 人（住民基本台帳から無作為抽出）

(2) 調査方法

郵送による配布・回収

(3) 調査期間

今回：令和 2 年●月

前回：平成 29 年 9 月 12 日（火）～平成 29 年 9 月 25 日（月）

(4) 回収数

前回回収数・・・1,159 票（38.6%）

(5) 調査項目

問 1：回答者属性

問 2：外出頻度・目的

問 3：公共交通に対する評価

問 4：バスの利用実態とその満足度

問 5：「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態とその満足度

問 6：くるりんバスのあり方（認知度・利用実態・今後の対応）

問 7：蒲郡市の将来的な公共交通のあり方

問 8：バスを全く利用しない人の理由と利用可能性

（参考）居住地別分析に係る中学校区分

校区	町名
大塚校区	相楽町、大塚町、海陽町
三谷校区	三谷町、三谷北通
蒲郡校区	平田町、豊岡町、五井町、府相町、新井形町、蒲郡町、堀込町、新井町、八百富町、神明町、本町、上本町、中央本町、元町、丸山町、竹島町、松原町、港町
中部校区	水竹町、清田町、坂本町、神ノ郷町、宝町、御幸町、宮成町、緑町、旭町、栄町
塩津校区	柏原町、竹谷町、西迫町、拾石町、鹿島町、浜町
形原校区	一色町、金平町、形原町、形原町北浜、形原町春日浦
西浦校区	西浦町

蒲郡市における公共交通に関するアンケート調査について (ご協力のお願い)

市民の皆様には、日ごろから市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

蒲郡市における公共交通として、鉄道、路線バス、タクシーがあります。また、平成27年4月から形原地区において蒲郡市内で初めての支線バス（コミュニティバス）が運行を開始し、現在は東部地区・西部地区にも拡大して3路線を運行しています。

一方、自家用車の普及および人口減少に伴い、公共交通利用者が減少し、公共交通事業者の経営が圧迫され、事業者のみでは公共交通サービスの確保が困難となってきております。

これらの公共交通を維持するために、蒲郡市では名鉄西尾・蒲郡線へ年額約9,900万円、路線バスへは年額4,400万円、形原地区等のコミュニティバスには年額約1,700万円を運行補助しています。

また、70歳以上の方がタクシーを利用する際に3割引となるチケットを配布する、高齢者タクシー運賃助成事業にかかる市の負担額は年額約1,700万円で、電車、バスへの運行補助と合わせて、市は、年額約1億8,000万円を公共交通に支出しています。

(参考：周辺市の公共交通の実負担額)

市町村名	自治体の実負担額※1	人口※2	一人当たり事業費
蒲郡市	47,826 千円 (164,014 千円※3)	79,935 人	598 円/人 (2,052 円/人)
豊橋市	89,589 千円	373,737 人	240 円/人
豊川市	130,654 千円	184,043 人	710 円/人
新城市	143,353 千円	44,435 人	3,226 円/人
田原市	215,150 千円	60,013 人	3,585 円/人

※1：愛知県振興部交通対策課「愛知県内の市町村における自主運行バス等の運行状況について」（令和元年5月調査・平成30年度実績値）より

※2：愛知県「愛知の人口（県及び市区町村別推計人口及び要因別移動数）」（令和2年1月1日現在）より

※3：名鉄西尾・蒲郡線と高齢者タクシー運賃助成事業への負担額を含む。

今後も高齢化が進み、車で移動できない方々が増え、公共交通の必要性も高まってまいります。

蒲郡市では、蒲郡市の将来の公共交通の姿を描いた「蒲郡市地域公共交通網形成計画（平成28年6月）」を更新するために、交通政策に対するご意見をお伺いさせていただきたいので、アンケート調査を実施させていただきます。

趣旨を御理解いただき、調査にご協力をお願いいたします。

回答にあたってのお願い

- ・ 本調査は、蒲郡にお住まいの16歳以上の皆様から無作為に抽出した3,000人の方々に
対してお送りしております。なお、抽出データは令和2年●月●日現在のものです。
- ・ ご回答内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用
することは一切ございません。
- ・ 回答は、ご本人（あて名の方）がご記入ください。
ご本人の記入が困難な場合は、ご家族の方が聞き取ってご記入いただいても構いません。
- ・ 質問毎に、あてはまる番号に○印をつけるか、（ ）内に必要事項を直接ご記入ください。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出を自粛している場合は、自粛前の行動等につ
いてご回答ください。
- ・ 蒲郡市の地域公共交通の実情を整理した資料を添付しています。蒲郡市の鉄道やバスのル
ートや利用状況を紹介していますので、ご回答の参考としてください。
- ・ 記入後は、同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、**令和2年●月●日（●）
までにご投函**ください。本アンケート調査は、業務委託しているため、アンケートの返送
先は委託先である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社となっております。
なお、市役所新館4階総務部交通防犯課や庁舎1階の総合受付へお持ちいただいても結構
です。
- ・ この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。
蒲郡市役所 新館4階 総務部 交通防犯課
〒443-8601 蒲郡市旭町 17-1
電話：（0533）66－1156 FAX（0533）66－1183

公共交通に関するアンケート 回答用紙

問1. はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。(1つに○)

性別は？	1: 男性 2: 女性
年齢は？	1: 20歳未満 2: 20歳代 3: 30歳代 4: 40歳代 5: 50歳代 6: 60～64歳 7: 65～69歳 8: 70～74歳 9: 75～79歳 10: 80歳以上
お住まいは？ 町単位です。	1: 相楽町 2: 大塚町 3: 海陽町 4: 三谷町 5: 三谷北通 6: 平田町 7: 豊岡町 8: 五井町 9: 水竹町 10: 清田町 11: 坂本町 12: 神ノ郷町 13: 府相町 14: 新井形町 15: 蒲郡町 16: 堀込町 17: 新井町 18: 八百富町 19: 神明町 20: 本町 21: 上本町 22: 中央本町 23: 元町 24: 宝町 25: 御幸町 26: 宮成町 27: 緑町 28: 旭町 29: 丸山町 30: 竹島町 31: 松原町 32: 港町 33: 栄町 34: 柏原町 35: 竹谷町 36: 西迫町 37: 拾石町 38: 鹿島町 39: 浜町 40: 一色町 41: 金平町 42: 形原町 43: 形原町北浜 44: 形原町春日浦 45: 西浦町 46: その他 ()
職業は？	1: 自営業 2: 会社員 3: 公務員 4: パート・アルバイト 5: 主夫・主婦 6: 学生 7: 無職 8: その他 ()
自動車免許はお持ちですか？	1: 持っている 2: 持っていない
自家用車はお持ちですか？	1: 自由に使える車がある 2: 家族で共有している 3: 持っていない
外出(通勤・通学含む)については？	1: 外出には困難を感じない 2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする 4: 外出は困難な状況である

問2. 外出(通勤・通学含む)の頻度や目的についてお伺いします。

問2-1. あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)

1: 1週間のほぼ毎日	2: 平日はほぼ毎日	3: 週に3～4日
4: 週に1～2日	5: 1ヶ月に数日	6: 年に数日 7: その他

問2-2.「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段を教えてください。
 (「通勤」には、自営・農業等を含みます)

		外出する頻度は？ (1 つに○を つけてください)	→	その時の「交通手段」は？ (該当する <u>すべての番号</u> に○を つけてください)
「通勤・通学」 の場合 目的地(施設名) ○○会社、○○高校等 ()	→	1: 1 週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に 3～4 日 4: 週に 1～2 日 5: 1 ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (下の問へ)	→	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス東部) 7: くるりんバス 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JRなど) 10: その他()
「買い物や 娯楽」 の場合 目的地(施設名) ○○スーパー、 図書館等 ()	→	1: 1 週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に 3～4 日 4: 週に 1～2 日 5: 1 ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (下の問へ)	→	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス東部) 7: くるりんバス 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JRなど) 10: その他()
「病院や 福祉施設」を 利用する場合 目的地(施設名) ○○病院、 老人福祉センター等 ()	→	1: 1 週間のほぼ毎日 2: 平日はほぼ毎日 3: 週に 3～4 日 4: 週に 1～2 日 5: 1 ヶ月に数日 6: 年に数日 7: ほとんど行かない (問3へ)	→	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄バス東部) 7: くるりんバス 8: 鉄道(名鉄西尾・蒲郡線) 9: 鉄道(JRなど) 10: その他()

※ くるりんバス = 形原地区「あじさいくるりんバス」、東部地区「とがみくるりんバス」、
 西部地区「みかんの丘くるりんバス」

問3. 公共交通に対する評価についてお伺いします。

問3-1. 日常の公共交通での移動に不便を感じていますか？ (1つに○)

1: 感じている 2: やや感じている 3: あまり感じていない 4: 感じていない

→ 上記問3-1で、1・2を選択した、不便を感じている人にお伺いします。
不便に感じる理由は何ですか？（3つまでに○）

- 1: 自宅から鉄道駅やバス停留所までが遠い
- 2: 利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない
- 3: 通常のタクシーが利用できるが、料金が安い
- 4: 家族等に送迎してもらう必要があり、家族等に遠慮があるため外出そのものが困難
- 5: 介助や杖を必要とするため外出そのものが困難
- 6: 車の方が公共交通と比べて便利
- 7: その他（ ）

問3-2. 公共交通(鉄道・バス・タクシー等)が「ない」あるいは「利用しづらい」ために、外出を控えたことがありますか？ (1つに○)

1: よくある 2: たまにある 3: ない

問4. バスの利用実態とその満足度についてお伺いします。

問4-1. 市内のバスの利用状況についてお伺いします。

(1)あなたはバスをどの程度利用されますか？ (1つに○)

1: 週に3日以上 2: 週に1～2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
5: ほとんど乗らない ・ ・ ・ ・ ・ (問5へ)

(2)利用するバスは何ですか？（あてはまるものすべてに○）

1: 路線バス（名鉄バス）
2: くるりんバス（コミュニティバス）
3: ラグーナテンボス無料シャトルバス
4: 寿楽荘ふれあい入浴送迎バス
5: ホテル・旅館送迎バス
6: その他（ ）

(3)主なバスの利用目的をお答えください。(2つまで○)

- 1: 通勤 2: 通学 3: 買い物 4: 塾・習い事 5: 趣味・娯楽
 6: 観光 7: 通院 8: 福祉施設の利用 9: その他公共施設の利用
 10: その他 ()

問4-2. 現状のバスのサービス水準(運行本数、ルート、車両等)について、満足していますか？ (1つに○)
また、その満足・不満の理由をお答えください。

- 1: 満足
 2: おおむね満足
 3: やや不満
 4: 不満
 5: バスを必要としない
 (わからない)

満足な理由は？ (3つまで○)

- 1: 目的地に直接行ける
 2: 目的地まで早く行ける
 3: 自宅から停留所までが近い
 4: 乗りたい時間に運行している
 5: 運賃が安い
 6: 座れる
 7: 時間通りに来て予定が組みやすい
 8: 利用方法が簡単
 9: バス以外に交通手段がない
 10: その他 ()

不満な理由は？ (3つまで○)

- 1: 目的地に直接行けない
 2: 目的地まで早く行けない(時間がかかる)
 3: 自宅から停留所までが遠い
 4: 乗りたい時間に運行していない
 5: 運賃が高い
 6: 座れない
 7: 時間が読めない。予定が組みにくい
 8: 利用方法を知らない・難しい
 9: 車などのバス以外の交通手段がある
 10: その他 ()

問5.「名鉄西尾・蒲郡線」の利用実態とその満足度についてお伺いします。

問5-1. 名鉄西尾・蒲郡線の利用状況についてお伺いします。

(1)あなたは名鉄西尾・蒲郡線をどの程度利用されますか？ (1つに○)

- 1: 週に3日以上 2: 週に1～2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
 5: ほとんど乗らない ・ ・ ・ ・ ・ (問5-2へ)

(問5-1で、1～4を選択した人) (あてはまるものすべてに○)

- (3)名鉄西尾・蒲郡線の主な利用目的をお答えください。(2つまで○)

- (問5-3^)

あなたが「名鉄西尾・蒲郡線を利用しない理由」をお聞かせください。

(あてはまるものすべてに○)

- 問5-3. あなたが名鉄西尾・蒲郡線を利用するためには、どのような改善を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

- 5

問5-4. 蒲州市では、各種団体や市民の皆さんと一緒に「名鉄西尾・蒲郡線」の利用促進を図っています。こうした活動について、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。（あてはまるものすべてに○）

- 1: 生活に必要な路線であるので、積極的に利用するなどの協力を行いたい
- 2: 路線を存続させるために、今以上に利用促進を図るべき
- 3: 廃線の危機にあることを、もっと地域で共有するようにPRするべき
- 4: 廃線になったときの影響（地価の下落など）をもっと地域住民が知るべき
- 5: 路線が廃止にならないよう税金投入の維持拡大を継続するべき
- 6: 利用が拡大しないのなら、これ以上の税金投入をやめ、代替の交通手段に切り替えるべき
- 7: その他（_____）

**問5-5. 別添資料の「蒲州市内の鉄道・バスのネットワーク」をご確認ください。
民間の路線バスは、名鉄西尾・蒲郡線と並行してルートが設定されています。
現状、名鉄にも路線バスにも財政支援を行い、維持している状況です。
名鉄と路線バスの相互に利用者が乗り換えて、お互いの利用者増加に貢献している一方で、利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性もあります。
こうした状況に対して、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。
（あてはまるものすべてに○）**

- 1: 名鉄も路線バスも民間の交通事業者がそれぞれの考えで運行している事業であるため、事業者任せにしておけばよい
- 2: 名鉄と路線バスが相互に接続することで、お互いの利用者の増加に貢献しており、現状のままでよい
- 3: 利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、路線バスの運行内容の見直しを行い、名鉄に利用者が集中するように促すべき（路線バスへの税金投入額の削減も行う）
- 4: 利用者の一部が、名鉄と路線バスに分散している可能性があり、名鉄と路線バス両方の運行内容を見直し、路線バスに利用者が集中するように促すべき
- 5: 税金投入額を増加して、名鉄も路線バスも現在のサービス水準から向上させることで、それぞれの利用者の増加を促し、運賃収入の拡大を目指すべき
- 6: 名鉄に対する税金投入額を増加して、名鉄のサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 7: 路線バスに対する税金投入額を増加して、路線バスのサービス水準を向上させることで、それぞれの利用者の増加を促すべき
- 8: どんな対応をすべきかわからない
- 9: その他（_____）

問6. くるりんバス(コミュニティバス)のあり方についてお伺いします。

問6-1. 平成27年4月の形原地区「あじさいくるりんバス」の運行開始を皮切りに、現在は、東部地区・西部地区でくるりんバスが運行されています。

あなたは、これらくるりんバスの存在をご存知ですか？

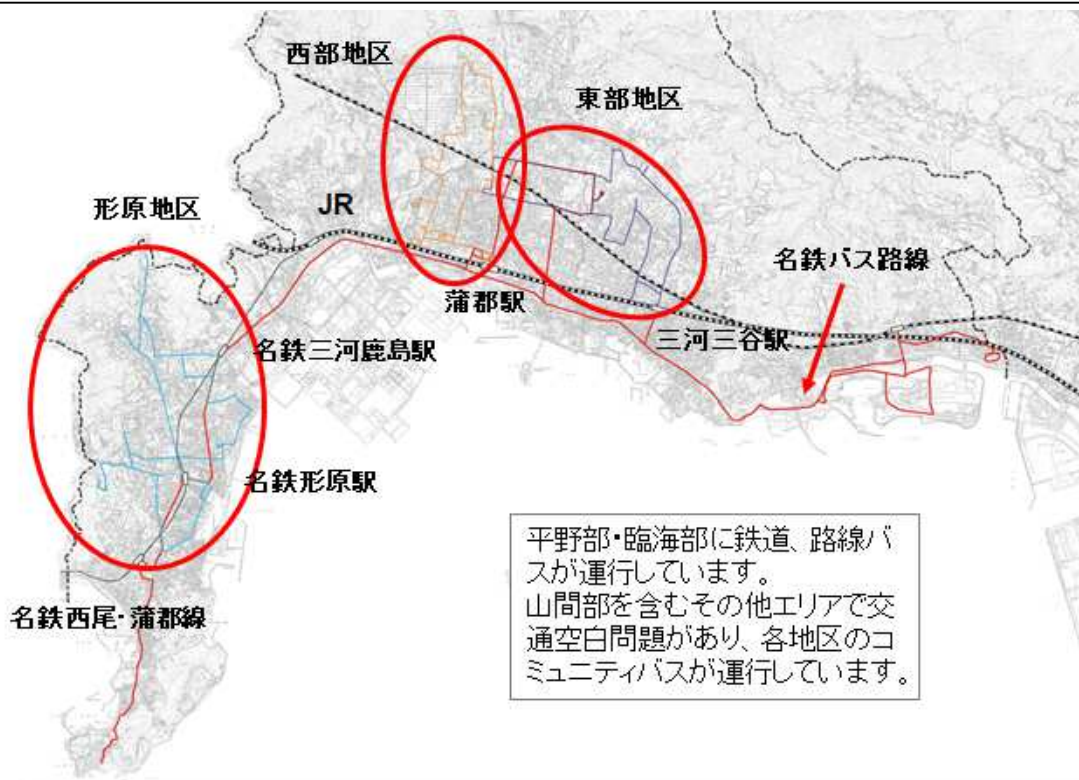
また、実際に利用したことがありますか？ それぞれお答えください。(1つに○)

	形原地区 あじさいくるりんバス	東部地区 とがみくるりんバス	西部地区 みかんの丘くるりんバス
認知状況	1: 知っている 2: 知らない	1: 知っている 2: 知らない	1: 知っている 2: 知らない
利用実態	1: 乗ったことがある 2: 乗ったことはない	1: 乗ったことがある 2: 乗ったことはない	1: 乗ったことがある 2: 乗ったことはない

問6-2. 蒲郡市地域公共交通網形成計画では、公共交通の将来像として「地域で創り、守り、育てあげる持続性の高い公共交通体系を構築する」とされております。くるりんバス(コミュニティバス)は、路線バスが走っていない地域において、地区の要望と協力により、市の補助を受けて事業化し、形原地区・東部地区・西部地区の3地区で運行が行われ、現在、三谷地区・大塚地区で運行に向けた協議が行われています。

あなたは、「くるりんバス(コミュニティバス)の事業化」について、どのように思いますか。考えに近い回答を選択してください。(1つに○)

- 1: 地区の要望と協力があれば、新たなコミュニティバスの運行はかまわない。
- 2: 運行する地区を制限するために、利用者数や収支状況等から利用実態を分析し、基準を満たすものだけ維持すべき(一定の基準を満たさないものは、廃止すべき)。
- 3: 市の負担(税投入)を前提とする赤字事業は行うべきではない。
- 4: その他()



問7. 蒲郡市の将来的な公共交通のあり方についてお伺いします。

蒲郡市では、鉄道、路線バス、くるりんバス等の公共交通が確保されていますが、これらの路線の維持のために一部経費を負担（税金投入）しています。

令和2年度は、名鉄西尾・蒲郡線に約9,900万円、名鉄バスに4,400万円、くるりんバス（形原・東部・西部の3路線）へ約1,700万円、高齢者タクシー運賃助成事業に約1,700万円、合計約1億8,000万円の税金投入を行います。

市の経費負担の規模は大きく、今後公共交通の必要性が高まっていく一方で、このまま現状の負担を継続してよいか、将来に向けて見直す必要があると考えています。

問7-1. 税金投入して維持している蒲郡市内の公共交通は、どのような「目的」のために、優先して維持すべきだと思いますか？

「優先される目的」を3つまで選んでください。（3つまで○）

- 1: 「通勤」できるようにするため
- 2: 高校生・大学生が「通学」できるようにするため
- 3: 「買い物」ができるようにするため
- 4: 「病院に通院」できるようにするため
- 5: 蒲郡駅など主要の「駅」を利用できるようにするため
- 6: 市役所などの「公共施設」を利用できるようにするため
- 7: 「その他の施設」の利用ができるようにするため
・・・どんな施設ですか？（ ）
- 8: 高齢者や身体障害者などの移動が困難な方の生活の足を確保するため
- 9: 民間の事業なので、運行目的は、民間の交通事業者にまかせればよい
- 10: わからない
- 11: その他（ ）

問7-2. 蒲郡市内の「民間の路線バス」は、運賃収入だけでは運行できないため、市が財政支援をして維持しています。

これら「民間の路線バス」は、走行している路線により、利用者数や運賃収入、周辺の居住者数などに違いがあるため、路線ごとに支援の額が異なっています。この違いに対して、あなたの考えに近いものをすべて選んでください。

（あてはまるものすべてに○）

- 1: 収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、運行本数を減らしてコストを下げたり運賃を高くして、収支状況の改善を行うべき
- 2: 収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、予約制にして利用者がいない時は走らないようにするなど、コストを削減できる別の方法に変えるべき
- 3: 収支率の悪い（税金投入額の高い）路線は、周辺住民や周辺企業からの寄付などによる支援を仰ぐことで、収支の改善を図るべき
- 4: 一定の税金投入額を超えてしまう路線は、廃止すべき
- 5: 現在の路線は、駅や市民病院を中心に蒲郡市全体のネットワークを考えて民間の交通事業者が構築したものであり、路線毎に評価などはせず、現状のまま維持すべき
- 6: その他（ ）

問7-3. 改めて、財政投入に対するあなたの意見をお伺いします。

鉄道・路線バス・コミュニティバス等を維持するために年間約 1 億8,000万円の税金を投入しています。この投入額を、どう思いますか？（1つに○）

- 1: 多すぎる 2: やや多すぎる 3: 妥当 4: やや少なすぎる 5: 少なすぎる

問7-4. 蒲郡市内の鉄道やバスの路線維持のため、今後の税金投入とこれら公共交通サービスの水準（運行方法、運賃設定や運行本数等）のあり方について、どのように考えるべきですか？（1つに○）

- 1: 現状は妥当な税金投入額・運行方法・運賃・サービス水準である
2: 今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい
3: 税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
4: 利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービス水準は現状維持）
5: 現在行われている民間のサービス水準を下げて、税金投入を抑制してほしい（使い勝手が悪くなり利用者が減ることで路線の維持が難しくなる悪循環が生じる可能性がある）
6: 税金投入を抑制するために、現在行われている民間のサービス内容を絞り込み、代わりに住民がボランティアで運転手になり困っている人を送迎するなど、別の方法で対応する
7: わからない。
8: その他（_____）

問7-5. 蒲郡市では、「高齢者タクシー運賃助成事業」として、70歳以上の高齢者に対して、年間100枚まで、タクシー料金が3割引き（タクシー会社が1割、市が2割負担）になるチケットを配布する事業を行っています。この事業の利用者が増加し、市の負担金が増加しており、年間1,700万円程度の費用を投入しています。当該事業に対するあなたのご意見に近いものを選んでください。

（あてはまるものすべてに○）

- 1: 高齢者向けの移動サービスとして、現在の事業をそのまま継続すべき
2: 市の補助金を2割から1割にして、市の補助額を削減すべき
3: 現在配布している枚数（100枚）を、年間50枚に削減し、市の補助額を削減すべき
4: 配布対象年齢を70歳から、75歳に引き上げることで、補助額を削減すべき
5: 普通のタクシーを利用すればよく、制度そのものを無くすべき
6: その他（_____）

問7-6. 公共交通の維持のためには、たくさんの方が利用する必要があります。あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？（1つに○）

- 1: 既に公共交通が中心
2: たまにならできると思う
3: 将来、年をとったらできると思う
※何歳になったら公共交通に転換しようと思いますか？
 ア) 60～64歳 イ) 65～69歳 ウ) 70～74歳 エ) 75～79歳
 オ) 80～84歳 カ) 85～89歳 キ) その他（_____歳）
4: 現状の公共交通の状況ではできない・変わらないと思う

問8. バスを「まったく利用しない人だけ」にお伺いします。

※バスを利用する人（当てはまらない人）は、最終 12 ページの自由意見にお進みください。

問8-1. あなたのお住まいの近くにバス停留所がありますか。（1つに○）

- | | | |
|-------------------|-------|-----------------|
| 1: ある | | 問7-2 を回答ください |
| 2: 自宅の近くにバス停留所はない | } | .. 問7-3 を回答ください |
| 3: 知らない・わからない | | |

問8-2. 上記問8-1で、1 を選択した人にお伺いします。

あなたが「バスを利用しない理由」をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1: 自分で車を運転できるから | 2: 家族の人が車で送迎してくれるから |
| 3: バスの乗り降りや外出するのが負担 | 4: 行きたい場所にバスが通っていない |
| 5: 利用したい時間にバスが走っていない | 6: 運行本数が少ない |
| 7: 運賃が高い | 8: 目的地まで時間がかかる |
| 9: 目的地まで遠回りする | 10: 時刻表通りに来ない |
| 11: 目的地への到着が遅れる | 12: 始発バスの時間が遅い |
| 13: 最終バスの時間が早い | 14: 帰りに利用できるバスがない |
| 15: 乗り継ぎが不便 | 16: 時刻表やルートがよくわからない |
| 17: バスの乗り心地が良くない | |
| 18: その他（_____） | |

問8-3. 上記問8-1で、2・3を選択した、近くにバス停留所はない、知らない・わからない人にお伺いします。

自宅近くに、条件に合ったバスが運行されれば、あなたは利用しますか？
（1つに○）

- | | | |
|-------------------|---|-----------------|
| 1: 条件が合えば、必ず利用する | } | .. 問8-4 を回答ください |
| 2: 条件が合えば、たぶん利用する | | |
| 3: 利用しない | | |

※利用しない理由は？

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ア) 自家用車で移動を優先する | イ) 家族の人が車で送迎してくれる |
| ロ) 徒歩や自転車がある | II) その他（_____） |

問8-4. 条件が合えば利用すると回答された方にお伺いします。

(1)「運行本数」に関する条件はありますか？（1つに○）

- ア) 1 時間毎に 1 本程度運行するなら利用
- イ) 30 分毎に 1 本程度運行するなら利用
- ウ) 15 分毎に 1 本程度運行するなら利用
- エ) 運行本数は関係ない（判断条件にはならない）
- オ) その他（_____）

(2)「運賃」に関する条件はありますか？（1つに○）

- ア) 現在のバスの運賃と同じ程度であれば利用
- イ) 現在のバスよりも安い運賃であれば利用
- ウ) 距離で変動しない「定額運賃」であれば利用
- エ) 運賃は関係ない（判断条件にはならない）
- オ) その他（_____）

(3)「目的地までの所要時間」に関する条件はありますか？（1つに○）

- ア) 乗用車と比べて少し遅れる程度の時間で目的地に着けるなら利用
- イ) ルートの設定から遠回りになるのは仕方がないので、迂回する分の所要時間の増加なら利用
- ウ) 所要時間は関係ない（判断条件にはならない）
- エ) その他（_____）

(4)「車両の形状」に関する条件はありますか？（1つに○）

- ア) 一般的な「バス」車両であれば利用（車いすやバリアフリーは対応）
- イ) ジャンボタクシーサイズの車両でも利用可能
- ウ) 一般的な「タクシー」車両を活用したセダンタイプの後部座席でも利用可能
- エ) 車両の形状は関係ない（判断条件にはならない）
- オ) その他（_____）

(5)ダイヤ(時刻表)に設定された時間に必ず運行する方法を「定時運行方式」と呼びます。「運行方式」に関して条件はありますか？（1つに○）

- ア) 自分が利用したい時間帯に運行している定時運行方式なら利用
- イ) あらかじめ「予約」する方法でもかまわない（不定期運行方式）
（利用者がいなければ、運行しないで済むためコスト削減が可能な方式）
- ウ) 運行方式は関係ない（判断条件にはならない）
- エ) その他（_____）

(6)バスを利用することが考えられる目的は何ですか？

①通勤・通学、②買い物・娯楽、③病院(通院)④その他 それぞれについて、その目的の目的地(場所)、利用頻度について回答ください。

例：③病院に行くために、蒲郡地区に1ヶ月に数日利用する場合

		回答例 ③ 病院	① 通勤 通学	② 買い物 娯楽	③ 病院 (通院)	④ その他
目的地の 場所は？ (1つに○)	1: 大塚地区	1	1	1	1	1
	2: 三谷地区	2	2	2	2	2
	3: 蒲郡地区	③	3	3	3	3
	4: 中部地区	4	4	4	4	4
	5: 塩津地区	5	5	5	5	5
	6: 形原地区	6	6	6	6	6
	7: 西浦地区	7	7	7	7	7
	8: 市外	8	8	8	8	8
外出する 頻度は？ (1つに○)	1: 1週間のほぼ毎日	1	1	1	1	1
	2: 平日はほぼ毎日	2	2	2	2	2
	3: 週に3～4日	3	3	3	3	3
	4: 週に1～2日	4	4	4	4	4
	5: 1ヶ月に数日	⑤	5	5	5	5
	6: 年に数日	6	6	6	6	6
	7: ほとんど行かない	7	7	7	7	7

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

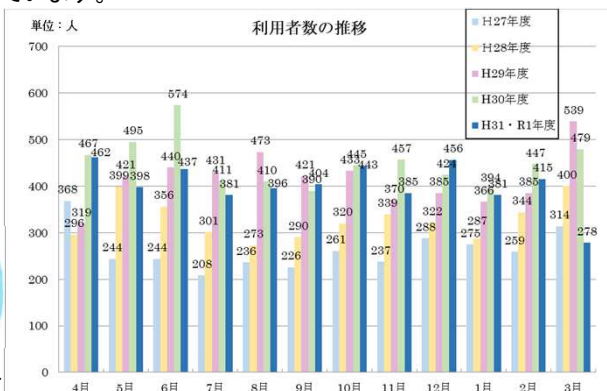
同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、
令和2年●月●日(●)までに投函してください。

コミュニティバスの状況



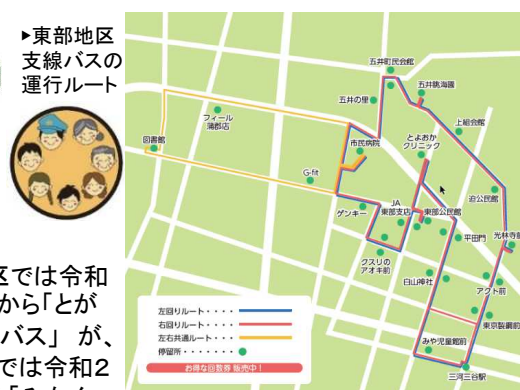
▲形原地区あじさいくるりんバスの運行ルート

鉄道と路線バスが運行していないエリアをカバーする新しい交通手段として、コミュニティバスがあります。平成27年から運行している形原地区では、地域組織が主体的に動かれ、利用者数も拡大しています。

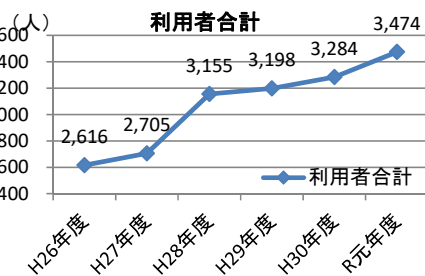


▼西部地区
支線バスの
運行ルート

東部地区では令和元年10月から「とがみくるりんバス」が、西部地区では令和2年1月から「みかんの丘くるりんバス」が運行しています。



この2つの路線は、図書館で乗り換えることができます



高齢者タクシー運賃助成制度

市内に住民登録のある満70歳以上の方を対象に、タクシー料金の3割分を割引する「高齢者割引タクシーチケット」の配布事業を行っており、利用者数は増加傾向にあります。タクシーは、ドア・ツー・ドアの大変便利な交通機関であり、高齢者の方々の外出機会の拡大の一助となっております。

交通防犯課 66-1156

蒲郡市における地域公共交通の実態について整理しました。蒲郡市には、鉄道・路線バス・コミュニティバス・タクシーなどの公共交通が運行されていますが、これらは蒲郡市が年間約1.8億円の財政支援を行い維持しているものです。これまでの右の年表に示す様々な取組を行ってきましたが、今後も、人口減少・少子高齢化が進み、厳しい状況が続くものと予想されます。地域公共交通を積極的に利用していただき、維持するためのご協力をお願いします。

年月	取組内容
H21.9	市民まると赤い電車応援団の結成
H22.5	高齢者タクシー運賃助成事業の開始
H25.3	蒲郡市地域公共交通会議の設置
H26.3	交通計画(地域公共交通総合連携計画)の策定
H27.4	形原地区あじさいくるりんバスの試験運行開始
H27.4	路線バスのダイヤ等の見直し
H28.6	交通計画(地域公共交通網形成計画)の策定
H30.7	路線バスにてICカードの利用が可能に
R1.10	東部地区とがみくるりんバス運行開始
R2.1	西部地区みかんの丘くるりんバス運行開始

蒲郡市内で運行している地域公共交通(財政支援を受けて運行)



鉄道(名鉄西尾・蒲郡線)



路線バス(名鉄バス)

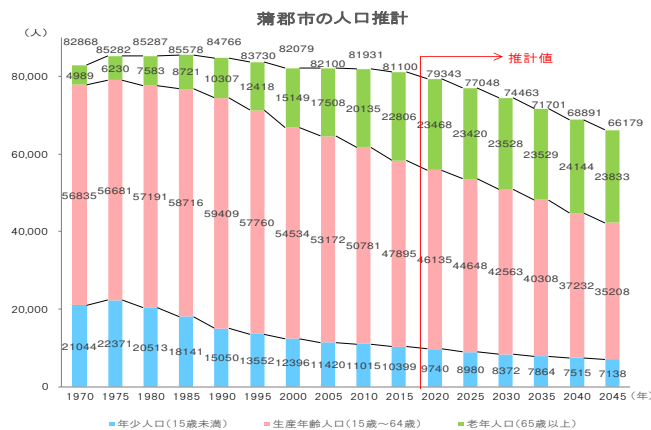


コミュニティバス

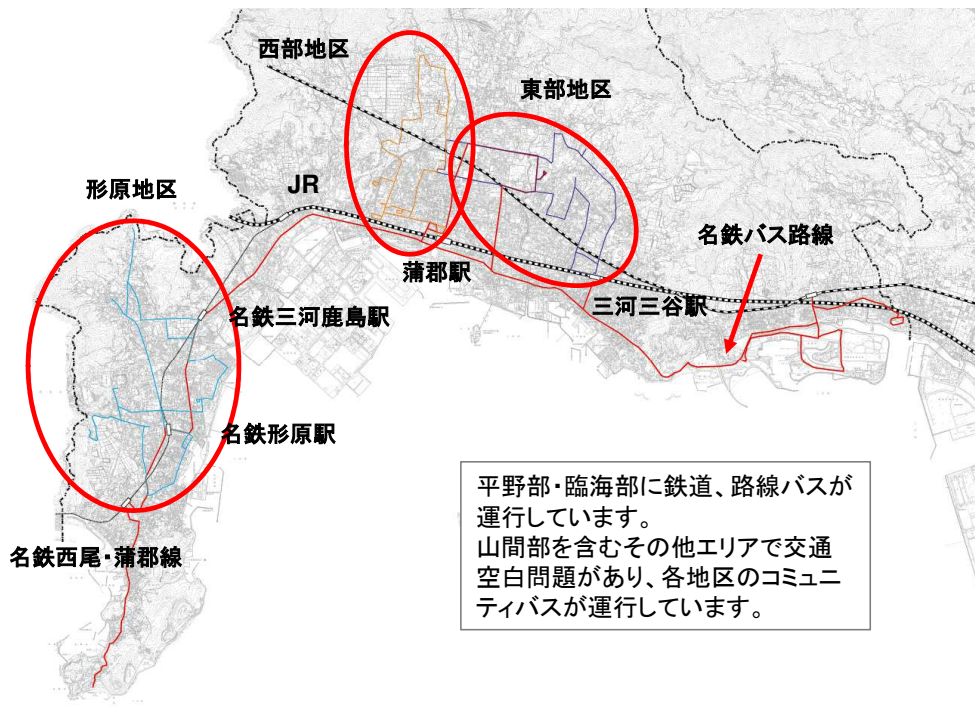
蒲郡市では、公共交通に対して、年間約1.8億円の財政支援を行っています。

蒲郡市の人口変動の推移

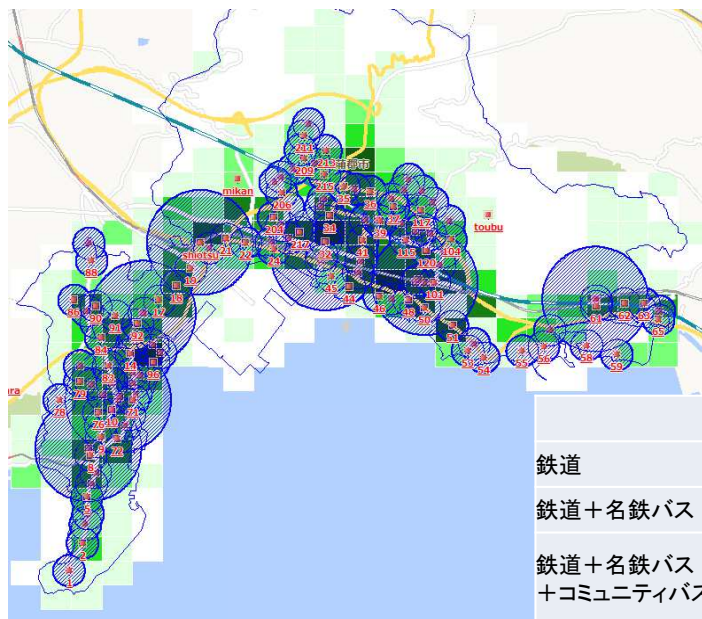
蒲郡市の人口はすでに減少し始めており、将来も減少する見通しです。一方で、少子高齢化が進み、65歳以上の高齢者の人口はしばらく増加する見通しです。高齢者の自動車運転による交通事故の拡大が危惧されるため、地域公共交通の充実が重要となっています。



蒲郡市内の鉄道・バスのネットワーク



鉄道とバスでカバーする人口割合



○地域公共交通による人口カバー率

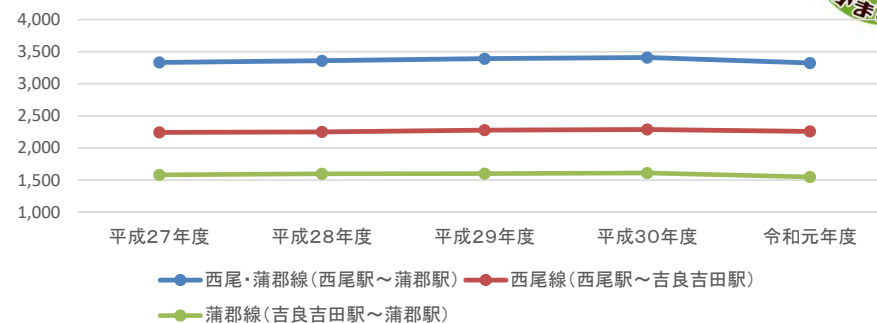
	人口	カバー率
鉄道	53,850	66.4%
鉄道+名鉄バス	61,910	76.3%
鉄道+名鉄バス+コミュニティバス	70,230	86.6%

名鉄西尾・蒲郡線の利用状況

蒲郡市内には、JR東海道本線、名鉄西尾・蒲郡線の鉄道が運行されています。そのうち、名鉄西尾・蒲郡線は蒲郡市と西尾市による財政支援により維持している状況です。利用状況としましては、年々少しずつではありますが増加傾向にあります。しかし、存続させるためにはより多くの方々に利用していただく必要があります。乗って残そう！の気持ちで皆さまに利用していただき、運賃収入の増加につなげていただきたいと思います。



名鉄西尾・蒲郡線利用状況



路線バス(名鉄バス)の利用状況

蒲郡市内のバス路線は、西浦方面から蒲郡駅・市民病院を結ぶ路線と、大塚方面から蒲郡駅・市民病院を結ぶ路線から形成されています。全路線赤字で、財政支援により維持している状況です。鉄道と同様に、皆さまにもっと利用していただき、運賃収入の増加につなげていただきたいと思います。



路線バスの利用者数

